

【市長賞】 幸せな給食

明和小学校 深津 葉月

私は給食が大好きです。そんな私の毎日の日課は、夜ねる前に次の日のこん立を読み上げることです。この日課のおかげで学校に行くことが楽しみになっています。学校での四時間目の授業が終わると、私は待ちに待った給食に、心がワクワクします。私の好きな給食は全てと言いたいところですが、特にラーメン、米粉パン、チーズオムレツが好きです。実はチーズオムレツは、四年前まで食べることができませんでした。私は二年生の途中まで、乳製品アレルギーがあったからです。

アレルギーが治るまでは、お母さんが代替食を家で作って持たせてくれました。私は自分だけがみんなと違う給食を食べることが本当にいやでした。こんな私を気づかって、お母さんは乳製品が出る日には、毎回私の好きな物を作って持たせてくれました。とてもうれしかったです。牛乳が飲めないのも、牛乳は毎日除去してもらっていました。みんながコーヒー牛乳を飲む日だけは、牛乳の代わりに豆乳を持たせてくれました。その日はみんなと同じ気持ちで味わうことができてうれしかったです。いつも以上に給食が美味しく感じました。給食での時間を楽しくしてくれたのは、お母さんだけではありません。私を通していた保育園の年長組の先生もとても気にかけてくれました。給食の準備が整ったら、「手を合わせてください。いただきます。」

「はい、まず牛乳全部飲んでー。」

と言って、クラス全員が一気に牛乳を飲みほしました。牛乳アレルギーだった私が牛乳にさわらないように、全員がこのような行いをしてくれました。今この光景を思い出すと、少し面白い光景だったなあとと思うけど、先生やクラスみんなが協力してくれたから、何も心配することなく、給食の時間を過ごすことができました。

今年度から私の学校ではアレルギー対応食が始まりました。この取り組みは、アレルギーだった私が考えると、アレルギーの子がみんなと同じ給食を食べることができているのは、本当にうれしいことだと思います。アレルギーの食品が入らないように作っていたお母さんや、アレルギーの食品にふれないように気を付けてくれた保育園の先生を見てきたので、通常の給食とは別に、アレルギー対応の給食を作ることはとても大変だし、気を付けながら作ってくれているのだと思います。アレルギー対応食を始めようと考え、実行してくれた方々、給食センターで作ってくれている方々に感謝をして、これからも給食を残さず食べようと思います。そして、クラスみんなと楽しく幸せな時間を過ごしたいです。